



ほうへいかいほう

Vol.94 2025.3.15

豊平會報

北海学園大学同窓会 ● 編集責任者 / 木村勝照 〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40 TEL 011-841-1161



C O N T E N T S

- 2 令和6年度「同窓の夕べ」開催
- 4 結成70周年記念式典挙行
- 5 卒業おめでとう
- 6 就職戦線2024
- 7 2025年度入試動向について
- 8 卒業生奮闘記
- 9 現役学生インタビュー
- 10 同窓会トピックス
- 13 同窓生のお店探訪 / 卒業生アンケート調査
- 14 支部だより
- 15 支部現況・連絡先
- 16 事務局からのお知らせ

上：1954年1期生卒業アルバムより
 (第2回写真部学外展、2期生 前同窓会会長代理名塩良一郎さんら)
 下：1955年2期生卒業アルバムより
 (アルバム編集委員記念写真、後列中央は前同窓会会長森本正夫さん)

祝!
結成 70 周年

同窓の夕べ

令和6年度
総会・懇親会
開催報告



令和6年度 総会・祝賀会・懇親会「同窓の夕べ」を10月26日(土)18時00分より札幌パークホテルにて開催し、卒業生、学園・大学関係者約600名にご参加いただきました。

同窓の森基誉則さんと吉野圭子さんの司会で、総会は城秀夫副会長の開会宣言後、関寛会長の挨拶、安酸敏眞理事長、森下宏美学長の祝辞と続き、木村勝照事務局長より会務報告が行われました。続いて、各支部長の紹介と新しく支部に加盟した「硬式野球部OB専門会」と「アメリカンフットボール部OB会」へ関会長より支部旗が贈呈されました。次に叙勲、褒章を受章された元札幌市議会議員の武市憲一応援団OB尚志会会長、元北海道議会議員の千葉英守評議員、小林米三郎副会長、また、母校と本会の栄誉と発展に寄与した山岳部OB会と応援団OB

尚志会に関会長より表彰状が授与されました。

同窓会結成70周年の本年は懇親会と祝賀会が同時開催され、恩師、来賓の紹介後、北海高等学校 秋山秀司校長の祝杯で始まりました。また、70周年を記念してグリークラブOB会が歌声を披露、サプライズで森下宏美学長も出演してくださり、魅力的な渋い声で会場を魅了しました。そして恒例の「学園グレートビンゴ」は、協賛企業のご協力で豪華な景品で大変盛り上がり会場は熱気と興奮に包まれました。

最後は現役応援団指導部 第70代 小林侑市団長のエールで学生歌を斉唱し、大澤定雄副会長の三本締めで幕を閉じました。

ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。



祝杯では、工学部生命工学科、八剣山ワイナリー、ナチュラルバイシクルとのコラボによる「同窓会結成 70 周年記念」学園オリジナルスパークリングワインで乾杯しました。



グリークラブOB 会演奏
森下宏美学長も出演！



ビンゴ景品のご寄贈
ありがとうございました

- (株)アイワード
- 岩田地崎建設(株)
- カタギリ・コーポレーション(株)
- 小林酒造(株)
- 札幌酒精工業(株)
- 札幌トロフィー(株)
- 札幌パークホテル
- ジンコーポレーション(株)
- (株)須田製版
- 道路工業(株)
- 中道リース(株)
- (株)ナシオ
- (株)ニトリホールディングス
- (株)マキ商会
- (株)ラボット

敬称略・50音順



北海学園大学同窓会 結成 70 周年記念式典挙行



同窓会結成 70 周年を記念して、10月26日（土）15時00分より札幌パークホテルにて式典を挙行し、卒業生、関係各位 130 名にご出席いただきました。宮本雅次記念式典副委員長より開会宣言が行われ、関寛会長より謝辞と挨拶を述べました。続いて、森下宏美学長より祝辞を頂戴しました。

また、多年にわたり本会の発展のために尽力された支部長、評議員、役員の方々に関会長より感謝状と記念品が贈呈されました。



同窓会「豊平会」が結成されて 2024（令和 6）年で 70 周年を迎えました。これもひとえに関係各位のご指導とご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

同窓会の発足は 1 期生の卒業を控えた 1954（昭和 29）年 3 月です。1 期生と 2 期生が話し合い自らの門出を祝う会を開催するために創ったのがはじまりです。現在、会員数は 9 万 7 千名を数え、全国各地において社会の各分野にわたって活躍しております。

振り返れば、本学の歩みは決して平坦なものではありませんでした。時代の変遷や多くの課題を乗り越える中で、本学が今日を迎えることができたのは、何よりも地域の皆様、卒業生、教職員の皆様の努力と支えによるものです。その結集が本学の発展を支え、未来への礎を築いてまいりました。現在、社会は急速な変化と新たな挑戦の時代を迎えています。本学もまた、次なる未来に向けた革新と進化を求められております。これからも「地域に根ざした学び」と「国際的視野の育成」を重視しながら、さらなる発展に向けて邁進する所存です。

今後とも皆様の温かいご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

卒業おめでとう

卒業生の声

- Q1 | 学園大に入って良かったこと
- Q2 | 大学で頑張ったこと
- Q3 | 4月からは… (進路など)
- Q4 | あなたにとって「仲間」とは

経済学部経済学科 長谷山 翔大

所属ゼミ/川村雅則ゼミ



- Q1 | 学生数が多いことです。学生が多いことで様々な人と出会うことができ、横や縦のつながりが沢山できました。また、視野も広がりました。
- Q2 | 学業です。ゼミナールでは学生アルバイトに関する調査を頑張りました。また、宅地建物取引士などの資格勉強も頑張りました。
- Q3 | 公務員として働きます。まずは新しい環境に慣れ、仕事とプライベート共に充実したものにしていきたいです。
- Q4 | 苦しいときに寄り添い合える存在です。仲間がいたから苦しいときも互いに支え合い、乗り越えることができました。

人文学部英米文化学科 信岡 洸里

所属ゼミ/小柳敦史ゼミ



- Q1 | 立地が良く、アルバイトや遊びとも両立しやすいところです。また、就職サポートが手厚いのも魅力のひとつだと考えます。
- Q2 | 卒業研究に力を入れていました。3年間で身に着けた思考力や調査能力をフル活用して、自分の好きな分野について深めることができ、非常に有意義な研究になったと感じています。
- Q3 | 国家一般職職員として働きます。大学では学んでこなかった分野ばかりの仕事ですが、より多くの経験を積んで、人としてさらに成長できるよう精進していきたいと考えています。
- Q4 | 年齢や立場などに捉われず、互いに教え、学び合える関係だと考えています。この大学での沢山の出会いが、沢山の学びになりました。

経営学部経営情報学科 根本 大輔

所属ゼミ/菅原浩信ゼミ



- Q1 | 1番はアクセスが良い！ 2番目は人数が多いため色々な人と交流できる！
様々なバックボーン持つ人と交流することで自分の価値観が広がります！
- Q2 | 情報学と経営学の2つの分野を勉強しました。また経営学部独自のCDPに参加し、実際に企業と関わる機会を通して実践的な社会人を養いました。
- Q3 | 北海道で一流のSEになるため、Slerで働きます。労働力不足などの問題を、ITの力で解決できるようIT・経営スキルの両方を兼ね備える人材を目指します！
- Q4 | 時には競い合い、時には励まし合い、時には一緒にバカをする、そんな感じです。

工学部生命工学科 北野 裕太

所属ゼミ/水谷武臣研究室



- Q1 | 興味のある分野を学べたことです。元々文系だったので心配事が多かったのですが、教授や友人の助けによってついていくことが出来ました。
- Q2 | 研究と就活の両立です。4年生の4月から始まる研究のためにあらかじめ3年生のうちから就活を始めておくことでどちらも満足いく結果を残せたと思います。
- Q3 | 医療機器商社のSEとして働きます。コロナ禍により関わることが増えた医療従事者の人たちのために精一杯頑張りたいと思います。
- Q4 | 一緒に時間を過ごしてきた人たちのことを指すと思います。試験前の辛い時間や一緒にいて楽しかったと思えるような時間をくれた仲間の皆さんに心から感謝しています。

法学部法律学科 稲葉 麻水

所属ゼミ/鈴木光ゼミ
所属サークル/大学広報サークル



- Q1 | 専門分野だけでなく、語学など幅広い授業を履修でき、数多くのことを学べたことです。また、課外活動も充実しているため、様々なことに挑戦することができました。
- Q2 | 授業と資格取得の両立です。毎日学校に通いながら合同を見つけて授業の予習や復習だけでなく、コツコツと資格の勉強をしていました。
- Q3 | 憧れであった空港で、飛行機に関わりお客さまの旅をサポートする仕事をさせていただきます。多くの人との出会いを通して、日々学び続け、成長していきたいです。
- Q4 | お互いに刺激を与えて支えてくれる、そして笑い合える存在です。仲間の存在があるから頑張れます。

大学院文学研究科 英米文化専攻 城田 龍星

所属ゼミ/上野誠治研究室



- Q1 | 研究に適した環境が整っていることです。図書の蔵書数も多く、自分が使用したい書籍がすぐに手に入り、コピーも容易にできます。研究費で書籍購入ができる点も利点の1つです。
- Q2 | 過去の自分を超えることです。そのために、今の自分には何が必要なのかを考えました。また、年始に目標を立て、目標達成に向けての努力もしました。年始の目標設定は現在も継続中です。
- Q3 | 研究生として、さらに研究を続けていきます。今まで、教授の方にご教示いただいたことを活かし、自分の研究を深め、自分自身の成長を感じられるよう尽力します。
- Q4 | お互いを高め合い、信頼し合える関係であると考えます。ともに同じ方向を向き、時に意見を交わすことができる関係が、私にとっての「仲間」です。



キャリア支援センター長 佐藤 大輔

近年、企業による採用活動の前倒しが進み、学生たちはかなり早い段階から就職活動に関わるようになっていきました。当センターの調査によると、早ければ3年生の前期に就職活動を始める学生もおり、3年生の後半には内々定を獲得してしまうケースも珍しくありません。

こうした採用・就職活動の前倒しによって、新たな課題も顕在化しつつあります。企業から見れば、人材不足の中で競合との人材獲得競争に勝ち抜かなければなりませんし、たとえ内々定を出して受諾してもらったとしても、そこから卒業までに(長ければ)1年以上の期間つなぎ止めておかなければ内定辞退に至ることもあります。さらに言えば、入社してくれた後も早期離職のリスクがあり、採用した従業員が定着するまでには茨の道が待っています。

一方で、学生にとっても選考の早期化にはデメリットがあります。大学教育課程では、専門科目が最も充実する3年次に就職活動がかぶってしまい、本来取り組むべきゼミでの研究活動や専門知識の習得に集中できないと

いう問題があります。現代の就職活動は、実質的にインターンシップがその入り口となっており、3年生になるといずれかのインターンシップに参加しなければならないという切迫感もあります。令和5年の三省合意により、一般にインターンシップは5日以上の期間で、かつ半分以上の日数に就業体験が組み込まれていなければならないので、これに参加するのは時間的・労力的にも一苦労です。

こうした状況を鑑み、本学キャリア支援センターでは、新しいキャリア支援体制の構築に向けて動き出しています。これまで3・4年生の就職活動サポートに力点を置いていたプログラムやコンテンツをより下位学年にも対象を広げ、下位学年から受けることのできるキャリア教育コンテンツを充実させていくことが一つの軸となっています。大学のキャリア支援センターとしての使命は、就職のサポートのみならず、本来の学術的研究や学問の探究といった勉学につながる形で一人一人のキャリア形成を支援していくことです。今後のキャリア支援センターの新しい取り組みに注目いただければと思います。



2025年度

入試動向について

入試部長 鈴木 聡士

入試部長3年目を迎えました。昨年に引き続き、同窓生としてこの原稿を書く機会に恵まれましたこと、うれしく思っております。

全国的な入試傾向として、国公立大、私立大とも総合型選抜等の年内入試による入学者が年々増加しており、全国の私立大で6割を超える状況です。今後もこのトレンドは継続していくものと考えられています。

新課程対応の選抜が今年度から開始しました。本学も、その対応において、出題者各位に多大なるご協力をいただきました。

共通テストの難易度は平年並みであり、大きな変動要因はありませんでしたが、本学の志願者数は約1割増加しました(一般選抜:4,409人(昨年度比+3.8%)、大学入学共通テスト利用選抜(1期):2,620人(昨年度比+23.4%)、計7,029人(昨年度比+10.3%))。(表1、2参照)。

これに対して、道内18歳人口の前年比は+2.1%であることから、18歳人口の増加割合と比較しても、本学の志願者数は大きく増加しました。本学の入試にご尽力いただいた関係各位の努力のおかげです。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

さて、入試は大きな変革期が訪れています。年内入試の割合が増加し続け、反比例するように、年明け入試の受験者数が全国的に減り続けています。このような状況の変化と将来を見据えて、本学においても次年度入試から、経済学部・人文学部・工学部の3学部が先行して、総合型選抜を導入します。加えて、学内の入試制度委員・入試委員・入試課スタッフと力を合わせて、統一型一般選抜を導入します。今までの一般選抜では、同一試験日において、学部・学科間ならびに1・2部間の併願はできませんでしたが、統一型一般選抜では、1日最大11併願が可能となります。受験生のチャレンジを最大限応援する入試制度改革となります。

この二つの大きな入試制度改革を通じて、本学のブランド力向上を進めたいと考えています。

次年度は、入試部長として最後の一年となります。締めくくりの一年として、これら二つの大きな入試制度改革を着実に「実施」していきたいと考えています。

入試を取り巻く環境は厳しさを増し続けていますが、皆さんと力を合わせて、この荒波をしっかりと乗り越えていきます。今後とも、お力添えのほど、よろしく願います。

表1 2025年度一般選抜 志願状況

学部・学科	募集人員	志願者数			
		2024年度	2025年度	前年比(人)	前年比(%)
経済学部(経済学科・地域経済学科)	150	1,063	1,202	139	113.1%
経営学科	69	609	614	5	100.8%
経営情報学科	55	411	425	14	103.4%
法学部(法律学科・政治学科)	130	593	671	78	113.2%
日本文化学科	48	211	197	-14	93.4%
英米文化学科	43	165	203	38	123.0%
社会環境工学科	23	86	73	-13	84.9%
建築学科	20	124	123	-1	99.2%
電子情報工学科	35	182	141	-41	77.5%
生命工学科	20	114	87	-27	76.3%
1部計	593	3,558	3,736	178	105.0%
経済学部(経済学科・地域経済学科)	53	220	236	16	107.3%
経営学科	50	166	142	-24	85.5%
法学部(法律学科・政治学科)	72	228	207	-21	90.8%
日本文化学科	13	47	56	9	119.1%
英米文化学科	9	27	32	5	118.5%
2部計	197	688	673	-15	97.8%
合計	796	4,246	4,409	163	103.8%

表2 2025年度 大学入学共通テスト利用選抜(1期) 志願状況

学部・学科	募集人員	志願者数			
		2024年度	2025年度	前年比(人)	前年比(%)
経済学部(経済学科・地域経済学科)	30	235	398	163	169.4%
経営学科	43	378	468	90	123.8%
経営情報学科	43	304	304	0	100.0%
法学部(法律学科・政治学科)	30	184	291	107	158.2%
日本文化学科	12	193	189	-4	97.9%
英米文化学科	12	165	201	36	121.8%
社会環境工学科	10	121	96	-25	79.3%
建築学科	12	129	133	4	103.1%
電子情報工学科	10	215	200	-15	93.0%
生命工学科	12	129	108	-21	83.7%
1部計	214	2,053	2,388	335	116.3%
経済学部(経済学科・地域経済学科)	12	164	164	0	100.0%
日本文化学科	6	36	39	3	108.3%
英米文化学科	6	35	29	-6	82.9%
2部計	24	71	232	161	326.8%
合計	238	2,124	2,620	496	123.4%
志願者数合計		6,370	7,029	659	110.3%
道内18歳人口		41,008	41,857	849	102.1%

*経済学部・法学部は学部単位の募集です。



1982年5月、4年目合宿（余市にて）※後列中央が私

多様なグループ事業を通して 地域社会への貢献を進める

■部活三味の学生生活

中学校から始めた軟式庭球（現在は『ソフトテニス』）で、高校時代少しだけ目立つ活躍ができたこともあり、入学早々軟式庭球部の先輩から入部の誘いを受けました。大学では、どちらかというアルバイト優先の学生生活をイメージしていたので、部活動に参加することは考えていませんでしたが、結果入部することに決めました。

当校の軟式庭球部は創部以来（今年で73年になる）、北海道の学生界において強豪校として知られ、歴代の諸先輩が築き上げてきた伝統があり、“体育会”そのものの雰囲気がありました。部活の一番の思い出は、暫く勝利が遠のいていた東北学院との定期戦です。私が入学した1年目の春に札幌で行われた試合で、当時実力差があると認識していた相手に、奇跡的な勝利を収めたことです。学校同士の対抗戦ということで、体育会の幹部の応援もあるなど、いつもの連盟の試合と違うことも合わせて印象に残っています。

■卒業、そして社会人へ

そんな部活中心の学生生活が4年目の夏まで続きましたが、意外にも学科の単位は順調に取得していたので卒業は問題ないものの、就職に関しては、いたって呑気に構えていました。そんな中、就職部から呼び出しがかかり、多くの学生が既に内定を受けているのに就職活動していない等、かなりの“教育的指導”を受けることとなりました。まだ景気も上向いていない時代で、厳しい状況でありましたが、地元の企業で小樽に本社がある「北海道中央バス株式会社」の採用選考に何とか間に合いました。ただし企業訪問1週間後に採用テストがあることがわかり、慌てて勉強した記憶があります。

1983年（昭和58年）に入社し、最初は本社の労務部に配属され、社会人1年目をスタートしました。その後は転勤などを繰り返し数多くの部署に在籍しましたが、主にバス事業を運営する業務が多く、高速バス路線の運行計画やイベント輸送の企画運営、地域路線における行

卒業生奮闘記

北海道中央バス株式会社
代表取締役社長

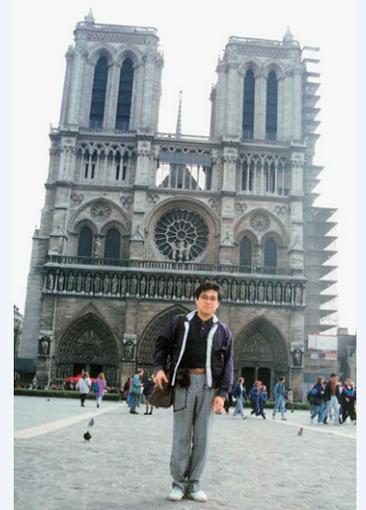
二階堂 恭仁 NIKAIIDO Takahito

経済学部1部経済学科
第30期・1983（昭和58）年卒業

政との協議等に携わってきました。イベント輸送についてはサッカーのワールドカップ開催等の札幌ドーム輸送、ライジングサン等のコンサート輸送、特にGLAYの10万人コンサートでは、他社との連携も図り、4時間かけ400両の車両で観客の輸送を完遂したことは、大きな達成感を得るところとなりました。また、2年間札幌市にも研修出向する機会を得、行政の仕事を経験することができました。

■厳しい事業環境の中で前進を

私が社長に就任してから胆振東部地震、新型コロナウイルス等の災害が発生し、経営にも大きな影響を被っております。特にコロナ後は行動変容があり社会環境が大きく変わってきてバス利用者も減少しております。現在の最大の課題は人手不足です。人口減少が進む中、担い手不足の解決は難しく、バス路線の減便、廃止をせざるを得ず、民業として公共交通の役割りを果たすのが難しい状況です。そういう中にありますが、観光や都市間高速バスにおいて新たなバス需要を創造するとともに、建設業をはじめ多様な当社グループ事業を通して、地域社会に貢献していきたいと考えております。特に北海道の主要産業の位置付けである“観光”という面においては、小樽では天狗山、ニセコではアンヌプリにスキー場を所有しており、多くのインバウンド客で賑わっております。今後も当社が所有する貴重な経営資源の強みを活かして、事業に取り組んでいきます。

1993年9月 海外研修
（パリ・ノートルダム大聖堂）

Interview>>>



HGU SOS 統括メンバー

ほりかわ 真紅 さん
 (経営学部経営学科 4年)

すずき まき
 鈴木 茉希 さん
 (経営学部経営学科 3年)

たかだ りん
 高田 凜 さん
 (人文学部日本文化学科 3年)

かたの まなみ
 片野 愛美 さん
 (経営学部経営情報学科 2年)

成長のために、
 共に支え合う
 学園生活を



左から堀川さん、鈴木さん、高田さん、片野さん

(2025年1月9日 北海学園大学同窓会会議室にてインタビュー)

HGU SOS (Student Omoiyari Support) は、学生による学生のためのサポートチーム。2020年春、コロナ禍で大学の生活が大きく変化したことをきっかけに発足しました。2024年度の統括メンバーの皆さんに、活動内容について聞きました。

一コロナ禍での誕生。そして持続的な活動へ

HGU SOSが発足したころは、リモート授業が始まり、多くの学生が授業の受け方などに大きな不安を抱えていました。とりわけ1年生にとっては、高校とは違う授業の形態から始まって、生活全般において疑問や質問が数々ある春です。チームではまず、学生目線で不安や悩みを解決できるサポートマニュアルを制作して、好評を集めました。2年目からは公式LINEを開設。必要な情報を自動AI応答のシステムを自作し発信して、そこで解決できない相談は、学生スタッフが直接対応する体制を整えました。サポートマニュアルの動画化にも取り組みます。大学(教務センターや多くの教員)からの協力や支援が、信頼の基盤になりました。

2023年の7月に始まり恒例となっているのが、「期末対策ライブ」。学期末のテストやレポートに向けて勉強をどう進めればよいか、当日のテストの受け方、レポートの書き方などを成績優秀な学生や先輩などが座談会方式でレクチャーします。対面でもオンライ



ン (YouTube・Instagram) でも参加できます。

さらに昨年6月には、チーム初めての取り組みとして「防災ワークショップ」を開催しました。豊平キャンパスは、札幌市から指定避難所の指定を受けているので、避難所として使用される機会も想定されています。本学では災害時の対応マニュアルを発行していますが、理解が進んでいるとは言えないでしょう。このワークショップでは、自らの命を守ると共に、災害時に正しい行動で避難者を先導できる学生になるために、石狩振興局の専門家によるレクチャーやゲームなどが行われました。ゲームは避難所の運営をめぐる「Doはぐ」というカードゲームで、それぞれが厳冬期の避難所を運営する立場となり、話し合いながらたくさんの課題を解決していきます。

一学園生活をしっかり味わい尽くそう！

統括メンバーの堀川さんがHGUSOSに参加したのは、まだコロナ禍の日々で対面授業が復活し始めたころ。友だちも少なく、学生を助ける裏方になりながら、自らもとても助けられたと言います。「活動を通じて、異なる立場のたくさんの人々と関わることで、社会の動き方や自分の役割が俯瞰できるようになったと思います」。

防災ワークショップを実現させた鈴木さんは、「私も教務センターや北海道庁の方々とやり取りをすることが、学びになりました。集客は大変だったけれど、手応えをたくさん感じて、この企画がこれからも続いていけば良いと思っています」と活動を語ります。

「企画を立案し日程やスタッフの調整など、裏方でやってみると大変だったけれど、やり切ったときの達成感

日常では味わえないものでした」と言うのは、昨年の「期末対策ライブ」の中心メンバーだった高田さんです。一方で、2023年のライブへの参加者だった片野さんは、「大学生活について何もわからなかった私は、思い切ってライブの会場に行ってみました。たくさん質問して、いっぱい助けてもらいました」と言い、今度は自分が裏方になって学友たちを助けたくなり、チームの一員となったのでした。



HGU SOSには同窓会があり、先輩や先輩から広がるネットワークも大切なリソースです。そもそも北海学園大学の諸先輩は全道のあらゆる分野で活躍していますから、在学生や後輩たちが頼み事をするには頼もしい存在です。必要とされれば、卒業したら自分も後輩たちを助けたいと語る鈴木さんは、現状のHGUSOSの課題をこう捉えています。

「学内でのポスター掲示やSNSなど、いろんな手段で私たちの活動をPRしていますが、まだ、HGUSOSが本当に必要な学生へ届ききっていないと思っています。みんなせっかく縁があってここで学んでいるのですから、できるだけ多くの人に、北海学園大学の価値や魅力を十分に味わってほしいです」。

教員や事務の立場ではなく学生だからこそ、学生の心に深く届くコミュニケーションができる。統括メンバーはその思いを強く共有しています。

アメリカンフットボール部創部50周年記念式典開催

アメリカンフットボール部OB会総会並びに創部50周年記念式典が2024(令和6)年8月11日(日)18時00分より札幌ガーデンパレスにて開催されました。2023年に創部50周年を迎え、コロナ禍のため1年延期したうえでの開催となりましたが、大学から森下宏美学長、同窓会から関寛会長、東北学院大学アメリカンフットボール部OB会高橋会長、関係団体、OB会会員、現役部員含め総勢140名が参加しました。OBで元日本代表と現役Xリーガーのパネルディスカッション、現役生からチーム紹介と秋のリーグ戦に向けての抱負、また、チームグッズが当たるビンゴ大会などで大変盛り上がり最後は全員で学生歌を斉唱し閉会となりました。



釧路支部結成60周年記念式典・懇親会開催

釧路支部 結成60周年記念式典・懇親会が2024(令和6)年11月1日(金)18時00分より釧路センチュリーキャッスルホテルにて開催され、大学から森下宏美学長、同窓会から関寛会長が出席しました。

式典では、前支部長の花井紀明氏に感謝状が贈呈され、懇親会では、濱屋支部長、花井前支部長、森下学長、関会長による鑑開きが行われました。



新支部誕生「ボクシング部OB会北拳会」

令和6年度 第3回幹事会(1月10日(金)開催)にて「ボクシング部OB会北拳会」が54番目の支部として承認されました。

会長 倉田 達夫氏(経Ⅰ経30期・昭和58年卒業)

支部長交代のお知らせ

苫小牧支部 令和7年1月10日付(評議員兼務)

森 幹弘氏 → 山谷 芳則氏(工・土34期・平成17年卒業)

「経八期会」 解散

「経八期会」(会長 田中眞氏 経Ⅰ経8期・昭和36年卒業)が2024(令和6)年9月27日の支部総会にて9月30日をもって解散することを決定し、第3回幹事会(1月10日)において退会届が受理されました。

「経八期会」は同期会支部として2008(平成20)年9月に結成されました。16年間にわたり会員の親睦を図り、同窓会活動にご協力を賜り感謝申し上げます。

似鳥昭雄氏 特別顧問にご就任



この度、似鳥昭雄氏(経Ⅰ経13期・昭和41年卒業)に同窓会特別顧問にご就任いただきました。

2024(令和6)年11月16日(土)14時00分よりニューオータニイン札幌にて関寛会長より永年にわたり国内外に本学の名声を高め、本会の発展に多大なる貢献をされたことへの謝辞とともに委嘱状をお渡しいたしました。

北星学園・北海学園 両大学同窓会情報交換会

2024(令和6)年7月31日(水)18時00分より札幌ガーデンパレスにて北星学園大学同窓会と情報交換会を行いました。北星学園大学同窓会から、岡田義明会長、赤塚善彦副会長、千葉英二副会長、清水一江副会長にご出席いただき、本会から関寛会長、成田眞利子副会長、木村勝照事務局長、福原正己事務局次長と両同窓会の現況や課題などが話し合われ、有意義な情報交換会となりました。



北海学園四校同窓校友会連絡会議



北海学園四校同窓校友会連絡会議が2024(令和6)年11月29日(金)14時00分より同窓会会議室にて開催され、各校の同窓校友会より会長、事務局長が出席しました。今回初めて北海学園4校の同窓校友会長と事務局長が一堂に会して、各同窓校友会の活動動向、現況、課題について報告しました。また、各校の枠を超えた協力、連携の実現について話し合われました。

令和6年度北海学園大学同窓会第I種奨学金給付

同窓会第I種奨学金(1人12万円給付型)の奨学生が決定し、2024(令和6)年10月2日(水)12時20分より4号館10階にて森下宏美学長、須田一弘副学長、佐藤淳副学長と各学部長にもご出席いただき、認定証授与式を執り行いました。関会長より出席した奨学生一人一人に励ましの言葉とともに認定証が授与されました。

同窓会第I種奨学金は、I部12学科、II部7学科、計19名の学部生に2015(平成27)年より実施されています。昨年度より大学院修士課程各1名計5名にも給付が始まり、学部、大学院合わせて24名に給付されました。

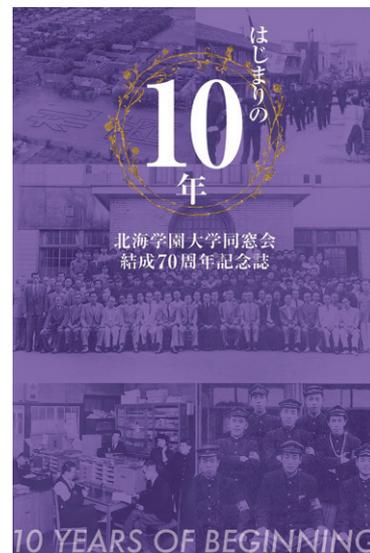


同窓会結成70周年記念誌 —はじまりの10年—

同窓会結成70周年を記念して『はじまりの10年』を発行しました。1950(昭和25)年の短期大学開学から70余年、2024(令和6)年同窓会は結成70周年を迎えました。この記念すべき節目に開設間もない大学の様子を語り継ぐため15名の方に当時の大学や学生生活についてお話を伺い、記念誌『はじまりの10年』を発行しました。

また、記念誌に掲載した開学時から昭和40年代前半までの校地・校舎の写真や明治期の北海英語学校、北海中学校、大正期の札幌商業学校の校舎等の写真パネル展を2024(令和6)年12月6日~2025(令和7)年3月14日まで豊平校舎6号館1階にて開催しました。

『はじまりの10年』PDF版をご覧ください →



同窓会結成70周年記念 オリジナルワインラベル

同窓会結成70周年を記念し、工学部生命工学科の研究により選抜されたワイン好適酵母を使用して醸造された「学園オリジナルワイン」用に記念オリジナルラベルを作成しました。このラベルは、工学部生命工学科、八剣山ワイナリー、札幌を拠点にするストリートアウトドアブランドのナチュラルバイシクルとのコラボによるものです。昨年10月26日の「結成70周年 同窓の夕べ」では、この記念ラベルをあしらったスパークリングワインで乾杯しました。





Vol. 08

同窓生の
お店探訪

ELSKA
(エルスカ)

札幌市中央区南 3 条西 6-3-1
電話 011-312-0393

大高 修さん

法学部 I 部政治学科
第 41 期・平成 19 年卒業



営業時間 18:00～22:00 (Dinner)
22:00～24:00 (Bar)
定休日 毎週火曜日、第4水曜日

学生時代から飲食の世界に興味があって、バイトをしていました。卒業した2000年代初頭は、構造改革や規制緩和といった経済の時代で、まず東京の証券会社に勤めました。それから東京で飲食の世界に入り、フレンチの店で修行します。札幌でビストロを立ち上げたのは31歳。9年前でした。ELSKAとは、アイスランド語で「愛」を意味します。グループはもちろん、おひとりでも寄りたくなる隠れ家的な店でありたいと思っています。

店内には映画や文学の書籍を揃えた書棚があります。北海学園大学の先輩でもある歌人の山田航さんとお昼に短歌の会を定期的開催しています。また夜には、月に一度行なうジャズライブも好評です。昨秋には、バスク料理を軸にした系列店、レストラン・バー「フォトゥイユ」をオープンしました(札幌市中央区南1東2-3-2 マツヒロビルB1)。同窓の皆様のお越しをお待ちしております。

卒業生アンケート調査のお願い

このたび北海学園大学では、卒業後一定の年数を経過した卒業生の方に、教育の成果(役立ち度)、本学への期待・要望、キャリア意識、帰属意識に関するアンケート調査を実施いたします。調査結果は、今後の本学の教育活動等の改善及び在学生への各種支援内容の向上のため役立てます。対象となる卒業生の皆様のご協力のほどよろしくお願いいたします。

■対象となる卒業生

卒業後3年、5年、7年を経過した学部卒業生の方

- 3年: 2022年3月卒業の方、2021年9月卒業の方
- 5年: 2020年3月卒業の方、2019年9月卒業の方
- 7年: 2018年3月卒業の方、2017年9月卒業の方

■アンケート実施期間

2025年3月15日(土)～6月30日(月)

■アンケート入力先

Google フォームを利用しています。ログイン不要・無記名式。回答時間: 3～5分程度



■お問い合わせ

お問い合わせは、北海学園大学学長室までお願いいたします。(以下のお問い合わせフォームをご利用ください)
<https://www.hgu.jp/forms/contact-form.html>
本調査の回答は「個人情報の保護に関する規程」に基づき、上記目的以外には一切使用しません。

支部だより(支部総会写真)

2024(令和6)年8月以降実施分



東園会 (8.30)



蛸牛会 (10.2)



江別支部 (10.4)



東京支部首都圏会 (11.9)



根室支部 (11.9)



北見支部 (11.15)



旭川支部 (11.20)



豊陽会 (1.8)



稚内支部 (1.29)



北社会 (2.15)

事務局からのお知らせ

◆北海学園大学同窓会に公式アプリが登場

この度、同窓会結成 70 周年を記念して、北海学園大学同窓会の公式アプリをリリースいたしました。

このアプリでは、公式サイトで配信される最新ニュースや広報誌をいつでも手軽に確認できます。日々の活動をサポートする便利な機能を随時追加していく予定です。

ぜひ、今すぐダウンロードして、同窓とのつながりを深化させてください。



北海学園大学同窓会公式サイトはこちら
URL : <https://dousou.hgu.jp/>

◆FAX 番号とメールアドレス変更のお知らせ

同窓会事務局の FAX 番号とメールアドレスが 4 月 1 日より変更になりますのでお知らせいたします。

変更前

FAX : 011-816-1001

E-Mail : doso.hgu@k8.dion.ne.jp

変更後

FAX : 011-841-8366

E-Mail : dousou☆hgu.jp

※☆を@に変えてください

電話番号につきましては変更ございません。

◆北海学園大学『学報』・北海商科大学『学報』・北海校校友会『校友だより』

各校の学報や校友だよりは、下記 QR コードよりご覧いただけます。

北海学園大学
『学報』



北海商科大学
『学報』



北海校校友会
『校友だより』



◆衆議院文部科学委員長に就任

中村裕之氏(経I経31期・昭和59年卒業)が、2024(令和6)年11月28日に衆議院文部科学委員長に就任しました。

住所変更の際はご連絡をお願いします

お手数でも同封の「住所等変更届はがき」(無料)、または下記 QR コードよりお知らせくださいますようお願いいたします。その他のご連絡、会報が不要な方は通信欄にご記入ください。発送作業の関係上、変更が間に合わない場合がございます。また、記入漏れにより変更手続きができない場合がございますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。個人情報同窓会活動以外には使用いたしません。



北海学園大学同窓会

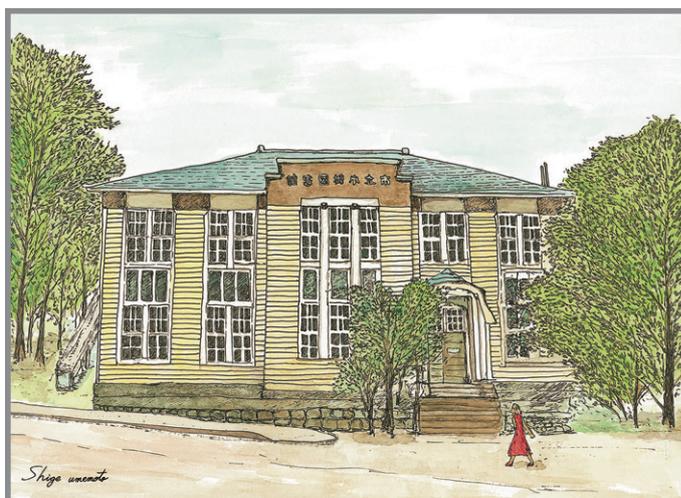
〒062-8605 札幌市豊平区旭町4丁目1-40

TEL : 011-841-1161 (内線 1148・1168)

FAX : 011-841-8366

E-Mail : dousou☆hgu.jp ※☆を@に変えてください

ホームページ : <https://dousou.hgu.jp/>



北海道
ノスタルジー散歩



「道行く赤いドレスの女(ひと)
旧小樽図書館」

梅本 成利 作

経済学部I部経済学科 第29期・昭和57年卒業